

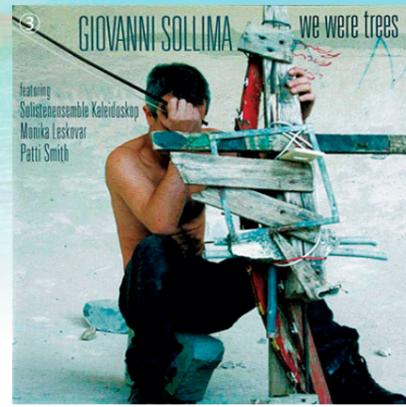
GIOVANNI SOLLIMA



①チェリスト・作曲家でもある父・エリオドロ・ソリマ(右)と幼少期のソリマ(左)。



②アルプスの氷で作られたチェロを、マイナス12度のドーム内で演奏した。



③地震で崩れ落ちたままの教会のがれきりで作ったチェロ。これを機に教会は建て直された。

④2019年、日本で行われた100人のチェリストによる公演「100チェロ」。

※ photo ①② by Giovanni Sollima official facebook

音楽は触れられないものだけど、
我々の心に触れてくる。
そしてどこかに連れ去ってくれる。
音楽ってそういうものだと思う。

イタリアの鬼才 世界最高峰のチェリスト ジョヴァンニ・ソリマ



世界的チェリスト、ヨーヨー・マからも絶賛され、美しく壮大な演奏にどこかオリエンタルな土の香りを感じる唯一無二のチェリスト、ジョヴァンニ・ソリマ。チェロであらゆるジャンルの音楽を行き来し、作曲家としても活躍するソリマの魅力とは。

ソリマの生まれた街 「イタリア・シチリア島」

私が生まれたシチリア島のパレルモは地中海のほぼ真ん中であって、ヨーロッパとほかの国をつなげる橋のような役割をして広がっていった。だから、教会、寺院、食べ物、名前にまでいろいろな要素が混ざっていて、私自身の名前もアラブ、ユダヤ系、スペインなどのルーツがある。音楽も同じで、シチリアに伝わる伝統音楽からは、多くの文化圏とのつながりを聴くことができるんだ。

名門音楽一家で育ち、 16歳でドイツへ留学

父はピアニスト・作曲家で、実は200年以上続く音楽一家なんだ。家には数多くの楽器が転がっていて、楽器は学ぶというより面白い遊びの感覚だったね。子どもの頃から父に作曲を習い、ピアノ、オルガン、ヴァイオリン、トランペットも吹いて、チェロは9歳から始めた。まるで17世紀の教育のようだったよ。〔写真①〕イタリア最年少の16歳でドイツプロマ

とができる。もちろん、昔の美しい曲を演奏することも大切だ。

「氷のチェロ」で イタリア中をツアー

手作りの楽器は山ほど作った。これは単純に私の「興味」ということに尽きる、病的なほどのね(笑)。水のなかでの演奏や、首に弦を巻きつけて自分がチェロになるなんていうのもやった。『氷のチェロ』は、マイナス12度に冷やしたドームのなかで演奏して、イタリア中をツアーで持ち歩いたんだ。だんだん溶けてきてしまっ、ジェラート屋さんの容器に避難させたりもしたよ!

これには社会的な意味合いもある。氷のチェロは、水、気候変動など地球の状態を我々に教えてくれ、大切なメッセージを投げかけてくれるんだ。私と自然との繋がりはとても強い。なぜなら音楽はある意味自然の要素の一つだからね。音楽は触れられないものだけど、我々の心に触れてくる。そしてどこかに連れ去ってくれる、そういうものだと思う。〔写真②③〕

100人のチェリストによる 「100チェロ」

「100チェロ」はレヴェルも年齢も関係ない100人のチェリストに

(準学士)をとり、ドイツに留学して世界的チェリストのアントニオ・ヤニグロに学んだ。私は好奇心旺盛で、誰よりも若い生意気な学生だったよ(笑)。ヤニグロは創造的な僕を自由にさせてくれた。チェロだけでなくそれ以上に人間的なところをたくさん吸収したね。

チェリストであり 作曲家であること

私は古典的な方法でクラシック音楽の教育を受けた反面、ジャズ、ロックなどは現代的なアプローチで学んだ。音楽だけでなく、音楽の周りに何があるかということに関して興味を持ち、演劇や建築まで、生の表現は何でも追及したよ。この熱意と好奇心は幼い頃から変わらないよ。私にとってはチェロも作曲も同じだよ。1900年代初めからどちらか選択を迫る教育システムになってしまったけれど、両方経験するのは素晴らしいと思う。

私たちは現代に生きているのだから、いろいろなスタイルの音楽と触れ合い、もっとクリエイティブになるこ

よる公演でいわばシンフォニーオーケストラと巨大なロックバンドの融合のようなものなんだ。2012年にローマの劇場を復活させるために始めたこのプロジェクトは圧倒的なエネルギーに溢れていて、以来とどまることがない。昨年、日本でもこの経験を共有できたことはとても素晴らしい。〔写真④〕

2020年初の日本ツアー

自分ができる様々な音楽を聴いてもらえるプログラムにするつもりだ。『フォーク・チェロ』とでも言うべき内容になりそうだよ。J.S.バッハの「無伴奏チェロ組曲」やバロック音楽、イタリアのタランテラという民俗舞曲、シチリア島に伝わる音楽、そしてもちろん自作品も。日本的な音楽も組み入れたいし、考えれば考えるほどいろいろな可能性が見えてくるんだ。

ジョヴァンニ・ソリマ
無伴奏チェロ・コンサート2020

5月16日(土)
14:15開場 15:00開演
マーキーホール
全席指定¥3,500

曲目◆J.S.バッハ:無伴奏チェロ組曲第4番
ソリマ:ファンダンゴ
シチリアのアルパニア系住民に
伝わる伝承曲 ほか

※未就学児の入場はご遠慮ください。